

## 令和5年度 白根地区コミュニティ懇談会

◆開催日時：令和5年8月31日（木） 15:00～16:40

◆開催会場：白根地域生活センター 2F 視聴覚室



### <質疑概要>

#### 旧白根配水塔の今後の維持管理、補修について

発言： 昭和8年に完成した旧白根配水塔の老朽化が著しいが、今後の維持管理、補修等はどのように考えているのか教えてほしい。

また、耐震化の計画は進められているのか併せて教えてほしい。

回答： 配水塔は白根大火後の建設から90年が経過し、老朽化によりコンクリート片の落下の恐れがあるため、安全対策として周囲に囲いを設置しました。

今後は、コンクリート剥離対策等を優先して取り組んでいきたいと考えていますが、耐震対策も必要なことから予算の確保ができるよう調整していきたいと考えています。

発言： 国の登録有形文化財になっているが、国からの支援は一切ないのか。

回答： 笹川邸のような重要文化財と違い、国からの補助はほぼ無いに等しいです。

発言： 予算がないならクラウドファンディングという考えはないのか。

回答： クラウドファンディングも一つの方法だと思います。ご意見ありがとうございます。

#### 白根庭園内の簡易トイレについて

発言： 旧白根配水塔の白根庭園にはトイレがないため不便をきたしている。

向かいの白根水道公園のトイレまでは急な坂道を下らなくてはならないため、簡易トイレの設置を要望する。

回答： 現在剥離対策を優先して取り組んでおり、トイレの設置計画はありません。

ご不便をお掛けしますが白根水道公園のトイレをご利用いただきたいと思います。

#### 旧北越銀行白根中央支店の活用について

発言： この洋風建築物は、昭和9年から昭和46年まで白根町役場、後に白根市役所として使用され、北越銀行に払い下げられた。

中心市街地に位置しているが現在活用されていないため、南区の郷土歴史文化などの展示コーナーや災害避難施設として活用してはどうか。

回答： 旧白根中央支店について、第四北越銀行と活用に向けた話し合いをしていますが、現段階で賃貸借に対する方向性が決まっていないことから調整に時間を要すると考えています。

また、地元でも旧白根中央支店の活用に向けて、商工会や商店会連盟、青年会議所、創生会議などと意見交換を進めているところです。

発言： 風のまち白根を紹介する写真やモニターなどで人を呼び込んだり、地元のサークル活動の場な

ど、何かしら活用していただき建物を残してほしい。

回答： 地元関係者との話し合いのなかで、まずは建物の価値を知ってもらうところから始めてみてはどうかなどの意見がありました。

引き続き白根中心部の活性化に向けた取り組みができるよう、第四北越銀行をはじめ関係者と検討していきたいと考えています。

### 今年度の白根大凧合戦開催後の検証について

発言： 今年度の白根大凧合戦は通常どおりの開催となり、露店やお祭り広場などが賑わっていた。

幸い晴れていたが雨を想定した場合、前日の土曜日にも道路を開放して歩行者天国にするなど、来年度は視点を変えて、他に喜ばれるアイデアを期待する。

回答： 凧合戦以外のイベントについては、新潟みなみ商工会や青年会議所が主体となって実施していたので、ご意見を共有し、区としても協力していきたいと考えています。

### G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議について

発言： 7月2日の市報にいがたに「写真で振り返るG7新潟財相会合」の記事があった。

白根の大凧や下町のまといなどを展示し会場を装飾したとあったが、世界に誇る白根の大凧は揚げて見せるべきだと感じた。

回答： 今まで国際会議などを開催してきましたが、今回は今まで以上に警備上の制約が厳しかったようです。

そのようななかで、朱鷺メッセの天井に24畳の謙信の大凧を飾り、海外の皆さまに見ていただいたことは、喜ばしいことと感じています。

発言： 新潟産の食材を使った料理が提供されたようだが、南区の野菜や果樹などは使用されたのか教えてほしい。

回答： 歓迎レセプションで提供された食事メニューのなかで、「ル・レクチエコンポートと生ハム」と「骨付きしろねポークもも肉のスパイシー蜂蜜焼」に南区産が使用されました。

食とは別に、白根小学校、根岸小学校及び味方中学校の児童・生徒が「ウェルカムボード」を製作し、陰ながら子ども達の思いを伝えていただきました。

### 中ノ口川の水害対策について

発言： 近年、「線状降水帯」が全国的に発生し被害が出ているが、中ノ口川沿いで発生した場合の対策を教えてほしい。

回答： 平成31年に水道町ポンプ場を整備し、白根地区は1時間雨量49.9ミリの10年に1度クラスの雨にも対応できるようになっています。

また、今年度移動式の緊急ポンプを6台購入することになりました。浸水が発生した場合はこのポンプを活用して被害を最小限に抑えるようにしたいと考えています。

発言： 中ノ口川下流域に災害資機材を備蓄する防災ステーションがない。

令和4年に味方、白根、根岸の3コミ協で設立した「一級河川改修整備促進協議会」で今後、「中ノ口川防災ステーション」の建設に向けて県や国への要望を考えている。

回答： 南区では、現在水防倉庫を6か所に分散配置し、南区全域をフォローできる体制をとっています。

す。

「防災ステーション」については、協議会からの要望内容を踏まえて考えていきたいと思っています。

発言： 信濃川が増水した時は中ノ口川にどれだけの水量を流すかによって違ってくると思うので、河川の水門などを整備し、治水計画などを周知してほしい。

回答： 幸い信濃川は完成形の堤防なので、そこに流し込みながら中ノ口川の調整を行っています。水門の状況など皆さまに分かりやすい説明ができるよう、防災の備えを進めていきたいと考えています。

発言： 燕市の信濃川と中ノ口川が分かれるところに水門を作るという考えはないのだろうか。

回答： 信濃川・中ノ口川に流れるところに洗堰を設けて、なるべく大河津分水に流すように調整しています。

また、信濃川・中ノ口川に入ったところにも堰を設けて、そこでも水量を調整しています。

国ではもっと大河津分水に流すように川幅を広げる工事を行っています。

## 開発について

発言： 新潟市は田園都市としてスタートし、農業と都市のバランスを取りながら発展させるという触れ込みだったが、安易に田んぼを潰して宅地造成している感じがする。

回答： 南区の農村部では市街化調整区域の縛りがあり、既存集落区域には住宅を建てられますが、突然田んぼを潰してアパートを建てたりすることは難しくなっているのが現状です。